

会員2000人を目指して！

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 富田 博信



2025年度、埼玉県診療放射線技師会は「会員2000人を目指して！」というビジョンを掲げ、診療放射線技師の専門性向上と組織の発展を図るべく、タスク・シフト/シェアの推進、組織率向上、デジタル技術の活用による学術活動と会員サービスの充実という三本柱を軸に、事業を展開することを、2024年度第6回理事会にてご承認を頂きました。

タスク・シフト/シェアの推進については、医療現場における業務の多様化と効率化に対応するため、県内の医療施設と連携し、告示研修の定期的な実施を進めてまいります。これにより、診療放射線技師のスキル向上と業務の質的向上を図ります。またeラーニングプラットフォームを活用し、研修動画の配信を拡充することで、時間や場所にとらわれない学習環境を提供致します。さらに他職種との合同セミナーやシンポジウムを積極的に開催し、チーム医療における診療放射線技師の役割を明確にすることで、業務拡大の可能性を模索してまいります。

次に、組織率向上のための取り組みとしては、会員特典の充実を図ります。具体的には、日本診療放射線技師会（JART）が先行して進めている会員限定の動画閲覧サービスや、eラーニングコンテンツの無料提供を継続するとともに、学会や研修会などの参加費用の一部優遇を検討し、より多くの会員に学びの機会を提供致します。加えて、大学や医療機関の管理職への訪問や説明会を通じて、組織の意義や活動内容を広

く発信し、新規会員の獲得を促進してまいります。さらに、県外技師向けの特別セミナーや研究会を開催し、県外からの入会も積極的に呼びかけるとともに、会員紹介制度の強化やオンラインでの入会手続きの簡素化にも取り組み、より多くの方に入会していただける環境を整えてまいります。

そして、デジタル技術の活用による学術活動と会員サービスの充実としては、遠隔地の会員でも参加しやすい環境を整備致します。またホームページや専用アプリの機能を改善し、学会情報や研修スケジュールのリアルタイムでの提供を実現致します。加えて各種資料や会誌バックナンバーの電子化を推進し、会員が必要な情報に迅速にアクセスできる環境を構築致します。

これらの取り組みを通じて、2025年度末までに会員数1,600人の達成を目指すとともに研修・セミナー参加者数の前年比増加を目標と致します。進捗状況については四半期ごとに確認し、評価会議を実施することで、柔軟かつ効果的な事業運営を行ってまいります。また退会時のアンケートを分析し、退会理由と課題を特定した上で、必要な改善策を講じ、より強固な組織体制を築いてまいります。

本計画を通じて、埼玉県診療放射線技師会のさらなる発展と、診療放射線技師の専門性向上に貢献する所存です。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。